



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2019



2019 - 20 会長主題

もっと地元を身近に感じようぜ！

あずさ部長	赤羽美栄子(松本)	「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために」
東日本区理事	山田敏明(十勝)	「勇気ある変革、愛ある行動！」
アジア太平洋地域会長	田中博之(東京多摩みなみ)	“ Action! ” “アクション!”
国際会長	Jennifer Jones(オーストラリア)	“ Building today for a better tomorrow ” 「より良い明日のために今日を築く」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠・金本伸二郎
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2019年10月例会
 <EMC/E・YESの月>

と き **10月15日(火) 15:30-17:30**
 と ころ **山手センター 101号室**

受付 尾内規子さん、飯野さん
 司会 中村さん
 開会点鐘 会長
 モットー・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈祷 尾内さん
 ゲスト・ビジター紹介 会長
部長公式訪問挨拶
 赤羽美栄子あずさ部部長
 ハッピーバースデー
 卓話「誰にでも居場所のある社会づくりを
 一もちろん外国籍の人にも」
 田中治彦(はるひこ)さん

ニコニコ 一同
 報告・連絡事項 各担当
 閉会点鐘 会長

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

もし、善いことに熱心であるなら、だれがあなたがたに害を加えるでしょう。しかし、義のために苦しみを受けるのであれば、幸いです。人々を恐れたり、心を乱したりしてはいけません。

ペテロの手紙 I 3章 13-14節

10月 HAPPY BIRTHDAY

飯野毅与志さん 5日

9月報告

会員在籍数		11名
例会出席者	メ	10名
	ネ	1名
会員出席率		91%
ゲスト・ビジター		16名
	合計	27名
ニコニコ	一円(累計7,150円)	
B F	国内切手—g	外国切手—g

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。
 三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」



地域における多文化共生について—4 グループに分かれて話し合い

9月例会 報告

と き：9月17日（火）15：30-17：30

ところ：山手センター 101号室

出席者：浅羽、飯島（愛）、飯野、尾内、
尾内（規）、金本、功能、中村、星住
9名

山手会友：福島多恵子さん

メネット：浅羽 恵

ゲスト・ビジター：

利根川恵子さん（卓話者、川越）

小野崇之さん（西村隆夫ワイズ友人）

大和田浩二さん（松本・部地域Yサ
事業主査）

上松寛茂さん（埼玉・会長）

佐藤茂美さん（東京）

久保田貞美さん（八王子）

大輪匡史さん（武蔵野多摩・会長）

麻生由美子さん（ " ）

越智京子さん（たんぼぼ・会長）

小原史奈子さん（ " ）

服部節子さん（ " ）

小山久恵さん（サンライズ・会長）

菰渕光彦さん（サンライズ・部エク
テンション委員長）

村野 繁さん（世田谷）

三枝俊夫さん（美趣蘭ミシュラン、
サンブランチ(株)社長）

17名

合計 26名

山手のメンバーをはるかに超える賑やかなゲスト・ビジターのご出席をいただき、「120%ワイズを楽しませていただいています」と言われる利根川さんのお話を中心にとっても素晴らしい例会になりました。

9月のハッピーバースデーは、浅羽さん、佐藤茂美さん、村野繁さんを、浅羽さんのピアノに合わせてみんなで歌いお祝いしました。

そして、利根川さんから「**地域における多文化共生を考える～さいたま市の実践から～**」と題して、さいたま市の「国際化推進基本計画体系図」のコピー等を用いながら卓話をいただきました。<要旨>

さいたま市は2001年に浦和、大宮、与野の3市が合併して生まれた。2001年には政令指定都市になり、2003年に岩槻市を編入した。人口は130万人。関東地方の住みよい街の調査では、大宮が横浜、恵比寿、吉祥寺に次ぐ4位に、浦和が8位に入っている。さいたま市はオリンピックのバスケットとサッカーのホストタウンになっている。また、SDGs（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）にも熱心に取り組んでいて「**SDGs 未来都市**」に選定された。

「多文化共生」とはデジタル大辞泉によれば、「国籍や民族などの異なる人々が、文化的な違いを認め合い対等に関係を築こうとしながら共に生きて行くこと」である。

「さいたま市国際化推進基本計画」は4つの基本方針の一つに「**多文化共生の社会づくり**」を置いて次の5施策を掲げ、各施策にさらに具体的項目が掲げられている。

- ① 外国人市民も暮らしやすいまちづくり
- ② 行政サービスの国際化
- ③ 多文化共生に向けた相互理解の促進
- ④ 留学生・研修生の支援
- ⑤ 市民を主体とする国際化の推進

行政サービスの国際化はやさしい日本語を使うことが基本である。外国人市民の一番の悩みは日本語である。さいたま市のホームページは英、韓、中の3カ国語（機械翻訳）で読める。新宿区はもっと多言語で読める。また、新宿区には「しんじゅく多文化共生プラザ」がある。八王子市は台湾、中国、韓国の各1都市と海外友好交流都市の協定を結んでいる。

さいたま市の実践のお話の後、**グループ協議**に入った。

① 自分の地域での多文化共生度は？

外国人市民、外国人訪問者の数、行政の施策、市民の意識、NPO、NGO等を含む市民の活動

② 市民（個人、グループ、団体）としてできる働きは？

について、話し合った。そして、4グループの話し合いについて短く発表が行われた。その1例として、松本の**大和田さんの報告**を紹介する。

- ・外国人との交流以前に日本人同士の交流が少なくなっているのが問題。
- ・留学生受け入れ等を通じての交流を行った方も大勢いるが、年のこともあり、今は少ない。
- ・自分の住む地域以外で国際ボランティアに関わる方はワイズの中にも多い。
- ・松本クラブのように留学生を地域でとらえて交流につなげる「アジア賞」のようなプログラムもある。
- ・1990年の入管法大改革につながるようなこの前の入管法改革がまたしても準備不足の大混乱にならないか大変心配。

まとめとして、利根川さんは次のことを強調された。

「行政は司令塔であって、異文化理解は市民が主体です。市役所と地元の国際交流協会と市民・NGOの3者の連携を円滑に進めることが大切です。」



諸報告では、YMCA高等学院の井口校長からYMCA高等学院・Libbyのチャリティーコンサート（10月4日、霊南坂教会）について、また、大和田さんから10月19日（土）に松本で開催される「あずさ部部大会」と12月14日開催の「アジア賞」について案内があった。

10月卓話者 ご紹介

田中治彦（たなかまはるひこ）さん

上智大学グローバル研究所所員、(認定NPO) 開発教育協会理事。日本国際交流センター、岡山大学、立教大学、上智大学教育学科教授を歴任。山手YMCA リーダー会会長、岡山YMCA 理事、日本YMCA 同盟専門委員など。専門はユースワークとESD(持続可能な開発のための教育)。著書に『若者の居場所と参加』『ユースワーク・青少年教育の歴史』(東洋館出版社)、『SDGsと開発教育』『SDGsとまちづくり』(学文社)、『18歳成人社会ハンドブック』(明石書店)など多数

9月 ヨルダン会

と き : 9月25日(水) 14:30-16:30

ところ・華屋与兵衛 高田馬場店

出席者: 浅羽、上妻、尾内、功能、中村 5名

1、例会卓話の件

浅羽会長から、多摩みなみクラブの深尾香子さん(江戸千家)をお招きして、茶の湯について地域の外国人の方と一緒に学ぶ機会をつくる「多文化共生と茶」という提案があった。(11月例会でお話いただくことになった)

2、10月例会について

赤羽部長の公式訪問が予定されている。多文化共生をテーマにして、卓話者を浅羽会長が交渉する。

3、9月29日(土)、下田クラブ40周年に上妻が出席。

4、10月5日(土)、東京江東クラブ60周年に中村が出席。

5、10月12日(土)、東京八王子クラブ25周年

(高尾の森わくわくビレッジ)に浅羽、飯野、尾内が出席。

6、あずさ部部大会 10月19日(土) 松本 浅羽、上妻、飯野、尾内が出席。

おたより

<上妻英夫さん> 「街路柿 15号怖さで枝を切る」 15号台風が荒れ狂い柿の根元まで揺られるのを(午前3:30)見て、バッサリ枝を切り落としました。

YMCAニュース

1. 第32回 ユースボランティアリーダーズフォーラム

9月6日~8日、山中湖センターにて開催され、山手センターからも2名のリーダーが参加しました。このプログラムはワイズメンズクラブ国際協会東日本区の皆さんにご支援をいただき、活動暦が2年未満程度のボランティアリーダーを対象に毎年行われています。

2. 国際協力一斉街頭募金

9月14日、新宿駅周辺にて実施し、各部署から集った会員、ワイズメン、学生、メンバー、スタッフなど、総勢233名が街頭に立ちました。募金総額は338,788円となり、参加人数、金額ともに昨年を大きく上回りました。寄せられた募金はバングラデシュの7つのYMCAが運営する働く子どもたちの学校(NFPE)で学ぶ児童をはじめ、現地の青少年の教育支援に用います。

3. 第33回 東京YMCAインターナショナルチャリティーラン

9月23日(月・祝)、都立木場公園で開催されました。台風の影響で強風に吹かれる時間帯もありましたが、50チーム、伴走者も含めて計340人のランナーがそれぞれのペースで完走しました。またレース前の「こどもラン」には幼児・小学生約500人とその保護者が参加。ボランティア、スタッフ、応援者を合わせると来場者総数は1,600人を越え、にぎやかな大会となりました。益金は東京YMCAと全国YMCAが主催する障がいのある子どもたちを支援するプログラムのために用います。

4. 第50回全国YMCAリーダー研修会

全国のYMCA ユースボランティアリーダーを育てるため9月21~23日、「第50回 全国YMCAリーダー研修会」を東京YMCA 主管にて実施しました。この研修会は、子どもたちのキャンプ等企画・引率や障がい児者プログラムなどで活躍している

「ボランティアリーダー」のスキルアップを目的に毎年行われているもので、今年は18のYMCAより総勢47人が山中湖センターに集合。東京YMCAからは6人が参加しました。来年度は大阪YMCA 主管で行われます。(星住秀一)

富士山部部大会

下田クラブ 40 周年記念例会

に参加して

上妻英夫

下田クラブ 40 周年記念例会が目に入った。もう 40 年になりますか、そんな思いから、メールを開いて見たら 9 月 29 日 (日) とある。参加申込み用紙に部外者小生の事を記しました。「当時、日本区 EMC 事業主任」と、但し書きをしたのです。

40 年振り下田行き列車も黒船エクスプレス展望車スタイルで、海岸線と山並み、それにトンネルの多い事。9 時 55 分下田駅到着。タクシー乗り場でワイズメンですか？と声を掛けられ、返事をしたら、間もなくホテルのバスが来ますから一緒にと、有難い言葉に同乗しました。皆さんは東日本区監事 漆畑義彦兄、富士クラブ面々 7 名、車は海岸線を快適に会場ホテル伊豆急に入ると、出迎えバンド「伊東ステイールバン」の賑やかさに、雨予報も当たらず、薄日に波静かな海面を見ながら富士山部部大会が開会しました。

今回興味を引いたのは、部長長田俊兄の伊豆ジオMAPで「南から来た火山の贈りもの」伊豆半島はフィリピン海プレートの移動によってはるか南の海から現在の位置に移動して来た。それは約 2000 万年前にさかのぼりますと資料に基づいて話された。そして現在も伊豆半島を本州に押し込み続けて、緩やかな地核変動が、伊豆の大地の多様性を今なお育み続けています。伊豆半島は世界のどこを探しても、例をみない地球上の特異点とも言える場所になっているとのこと。

続いて、2018 年度富士山部表彰は賞状と記念品、そして握手と記念写真、大きな拍手をうけて居られました。“流石富士山部”。

.....

続いて下田クラブ 40 周年記念例会に移り、会長土屋誠兄の点鐘、会長挨拶では一時 43 名の大所帯もあったが、残念ながら現在 8 名となり、少数精鋭、知恵と工夫、一人二役で頑張ると、そして 13 年継続 CS 事業 (座禅教室)、地域奉仕活動を中心にワイズのスリットを広げ新メンバーの獲得に努力すると結ばれた。

下田市長 福井祐輔氏は、クラブ創立以来青少年育成団体 YMC A 支援、青少年座禅教室、子供箏曲体験教室開催等様々な催しを積極的に展開、本市青少年健全育成に大きな役割を果たされました。今後も大いに期待していると祝辞を述べられた。

社会福祉法人覆育会理事長 金刺幸春氏は 40 年のお付き合い、特に「すぎのこ作業所」は障害のある人たちが、住み慣れた地域で暮らし、社会参加を進めることを目的に、下田ワイズの皆様が計画を立案・参加されて、そして一緒に行動されたことが、障害者にとって如何に大切であるか、そしてみんなが喜んでおります。皆様と 40 年近い交流の中で、野球、ドッジボール、ワイズ手作りカレー、バーベキュー等について、心温まる思い出に親御さん共々深く感謝いたします。

DBC 札幌北クラブ森熊治郎ワイズ祝辞等。そこで下田クラブの沿革が記念誌に記載されているのが参加者の目に入りました。当時の関係者は池谷淳初代会長と小生 (79 ~81 日本区 EMC 事業主任) の 2 人しか居らず、土屋会長から着席間も無く沿革について問われた。当時の経過を詳細に話したら納得された。また何人かと同じ質問をされたので同様に説明いたしました。ただ、部長長田俊兄から壇上で説明をとのことでしたが、それについては辞退させていただきました。

懇親会では市長、覆育会理事長、池谷淳元下田市長と同席、ペリー提督上陸記念パレード等の実行の話題等興味ある事を聞くことが出来ました。

.....

会館リニューアル後初の
YMC A 山手のまつり
10 月 27 日 (日) 10 : 30 ~ 15 : 00
献品市や模擬店、子ども広場、お楽しみ抽選会
などなど。
会場 : 山手コミュニティーセンター





東京江東クラブ60周年祝会

に参加して

中村孝誠

10月5日(土)に亀戸アンフェリシオンで東京江東クラブ60周年の祝会が開催され、各クラブのワイズ、IBC(台湾長台中栄クラブ)、DBC(十勝クラブ)・江東YMCA 学院関係者(学院長・教諭・スタッフ・リーダー・保護者)等、総勢134名の参加者であった。令和へと時代が変わりクラブも還暦を迎えこの祝会のテーマを「RAY WA」(江東ワイズ新時代への輝き)とされた。

受付時より祝会を盛り上げるBGMが流れ17:00から柳亭燕路師匠による「60周年還暦寄席」があって、その後、記念式典が始まった。

<記念式典>

下記の挨拶・祝辞が述べられた。

物故者黙祷・・・この10年間に亡くなられた
白坂鐘蔵氏・安藤正武氏を憶えて
山崎江東クラブ会長挨拶・・・これまでのクラブ事業の歴史とここに関わってきた
すべての方々への感謝
山田東日本区理事祝辞・・・江東クラブの地域への貢献及びChange 2022への協力
菅谷YMCA総主事祝辞・・・江東センターとの模範的連携への感謝
加藤東京クラブ会長祝辞・・・江東クラブが誕生した時の先輩たちの熱意が今も受け継がれ今後も期待している。
(パス イット バック)

60周年記念事業目録贈呈

- ・江東幼稚園に新シンボル時計(時計の下にバス停があり一般の方からも喜ばれている)
- ・ワイズメネット文庫支援金
- 永年在籍者表彰・・・柳澤広繁氏(58年間)



<懇親会>

*鏡開き・乾杯・会食と進み、頃合いを見はかり下記挨拶等があった。

- 1、台中長栄クラブ会長の挨拶があり、素晴らしい陶器のプレートが江東クラブに贈られた。
- 江東クラブからは今回祝会の為に作ったクラブ員と同じTシャツをお土産に贈呈した。
- 2、十勝クラブ会長より手品が披露され祝会に華を添えた。
- 3、幼稚園園長・スタッフ等による歌とダンス
- 4、江東クラブ全員によるハカの披露(写真参照、当日はワールドカップ、サモア対日本の試合)
- 5、しんちゃんと歌おうと題し、大原真之介君自作自演の歌を皆で歌った。

宴もたけなわではあったが時間の関係で実行委員長より謝辞が述べられその後リーダーを対面に全員が向き合い「チクサク」を行い写真を撮って解散となった。

余り儀式にこだわらずリラックスした雰囲気の中で楽しく時を過ごすことが出来ました。若いワイズの企画で構成され、参加者全員がそれぞれに楽しめたようです。またYMCAのセンターのスタッフ・リーダー等も多く参加され、まさに両輪と行っても過言でない姿でした。また、地域に奉仕できる姿はやはりYMCAのセンター事業の内容にも左右されるような気がしました。

江東クラブは非常に活気のあるクラブであり、地域との繋がりや海外への活動はワイズメンズクラブの鏡であると感じました。

私案ですが、山手クラブの老齢化が進んだ昨今、クラブとしてこのようなクラブへの支援も考えて見ては如何でしょうか。